



東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン★貝塚市

8月19日～21日

2泊3日
交流の旅

行こうよ!台湾!



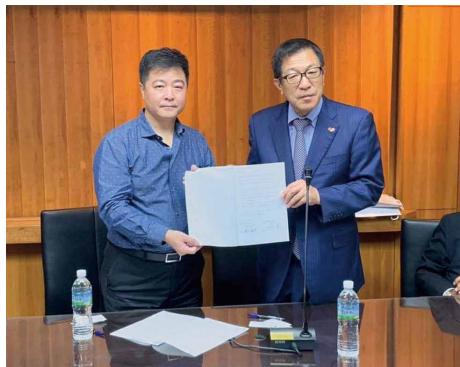
8月19日から8月21日の3日間、公募した一般市民、中学生、ホストタウン事業推進本部委員の計30人で台湾(台北市)を訪問しました。

1日目には、チャイニーズタイペイオリンピック委員会と中華民国卓球協会を表敬訪問しました。

来年の東京2020オリンピック開催に向けホストタウン事業を進めていくことを確認し、「台湾卓球チームを歓迎し、応援します。日本チームとどちらも頑張りましょう。」とお互いにエールを交換しました。



チャイニーズタイペイオリンピック委員会の李副秘書長(前列右から2人目)と記念撮影



中華民国卓球協会の林理事長と確認書に署名

今回の台湾訪問には、市内中学生6人が参加しました。

2日目に、卓球強豪校である台北市立松山高級商業家事職業学校を訪問し、卓球練習の体験やカウンタダウンボードを一緒に作成するなど、台湾で未来のオリンピックを目指している卓球部の生徒と交流することができました。



松山高級商業家事職業学校にて



台北市内の電車に乗りました

また中学生には、国立台中科技大学で日本語を勉強している現地の学生が同行してくれたことで、街の散策などを楽しみながら交流を深めることができました。



中正記念堂にて参加者全員で記念撮影

ほかにも、故宮博物院や忠烈祠、中正記念堂、龍山寺などを見学し、台湾の歴史や文化に触れるよい機会となりました。

今後も、ホストタウン事業を通じて台湾との交流を図っていきます。

「ホストタウン事業だより」は2か月に1回発行します。



ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ振興や教育文化の向上、地域活性化等を目的とする地方公共団体として、国により登録を受けたものです。

貝塚市は、台湾を相手地域とし、女子卓球競技を種目として、平成30年8月31日に登録されました。



台湾



位置：アジア大陸の南東、太平洋西側の東アジア諸島の間

面積：約36000km²(九州よりやや小さい)

人口：約2359万人(2018年12月)

主要都市：台北、台中、高雄

言語：中国語、台湾語 など

※参考 / 外務省 台湾基礎データ



台湾のことば(中国語)であいさつしてみよう!

你好	ニーハオ	こんにちは・初めまして
謝謝	シェシェ	ありがとう
好吃	ハオ チー	おいしい
再見	ツァイ チェン	さようなら



貝塚市から世界へはばたけ!! ジュニアアシスト卓球アカデミー

ジュニアアシスト卓球アカデミー(通称:ジュニアカ)では、日本生命女子卓球部総監督の村上恭和氏指導の下、世界を相手に戦える女子ジュニア卓球選手の育成が行われています。全国から集まった、中学生・高校生がともに寮生活を行い、日本生命体育館で日々練習を重ねています。

去る9月21日に開催いたしました市民卓球交流フェスティバルでは、“ジュニアカ”から5人の選手が参加し、市民と卓球を通じた交流を行いました。

今後の“ジュニアカ”選手の活躍を期待し、応援していきましょう。



市民卓球交流フェスティバルの様子



「東洋の魔女」は貝塚市で生まれた!

東京2020 オリンピック競技大会開催まで、300日をきりました。

55年前の1964年10月23日、東京オリンピック最終日前日に行われた女子バレーボール決勝戦は、日本が宿敵ソ連を相手に3セット全勝し、金メダルを獲得しました。この日本チーム12人の内10人が、先発メンバー6人全員がニチボー貝塚の選手でした。

1954年大日本紡績(のちのユニチカ)が各地工場のバレーボール有望選手を貝塚市に集め、日紡貝塚バレーボールチームを設立。「鬼の大松」と言われた大松博文監督がチームを率いて1958年には日本国内試合4タイトル制覇という女子バレーボール界初の快挙を達成しました。

日本一から世界大会での勝利に目標をすえ、1960年には世界大会で強豪の東欧諸国に勝利しましたが、ソ連チームには勝てず2位となります。その大会の経験から、長身の外国選手との闘いの困難さを痛感した大松監督は、対ソ連戦に備えた秘策として「回転レシーブ」を考案し、日紡貝塚の練習拠点である体育館で猛練習を行うようになりました。1961年に日紡貝塚の単独チームで欧州遠征を行った際、22戦全勝したことから「東洋の魔女」と称されるようになりました。

そして、1964年の東京オリンピックで初めて女子バレーボールが競技種目に採用され、貝塚市で生まれた「東洋の魔女」が、貝塚市民だけでなく全国から世界一を期待されるなか、見事金メダルを獲得したのでした。



東京オリンピック決勝戦

1964年東京オリンピック日本代表メンバー

- ①河西 昌枝(ニチボー) ②宮本 恵美子(ニチボー) ③谷田 絹子(ニチボー) ④半田 百合子(ニチボー)
 - ⑤松村 好子(ニチボー) ⑥磯辺 サタ(ニチボー) ⑦近藤 雅子(倉紡倉敷) ⑧渋谷 綾乃(ヤシカ)
 - ⑨松村 勝美(ニチボー) ⑩篠崎 洋子(ニチボー) ⑪佐々木 節子(ニチボー) ⑫藤本 佑子(ニチボー)
- 数字は背番号、ニチボーはニチボー貝塚、1964年から日紡貝塚からニチボー貝塚に改称



東京オリンピック表彰式



大松監督と東洋の魔女

お知らせ

11月3日(日)文化の日のつどいに「東洋の魔女」の井戸川絹子(旧姓:谷田)氏が出演します。日本生命女子卓球部総監督の村上恭和氏や市内在住のパラリンピック出場経験のある生長奈緒美氏、藤原市長とともに対談「オリンピックと私」を行います。是非ご参加ください。(詳細は広報かいづか 10月号10ページをご覧ください。)



日本生命レッドエルフを応援しよう!!

レッドエルフがTリーグ開幕シリーズ6試合を3勝3敗でスタート、第2位発進。

今年のTリーグは面白いと評判です。開幕シリーズを終え、1位木下アビエル神奈川から4位トップおとめピンポンズ名古屋までの勝点差が6点とかなり各チームの戦力が拮抗しています。開幕シリーズのレッドエルフは、他3チームとの対戦をすべて1勝1敗で終了し、現在勝点差2点で2位につけています。Tリーグは、世界や国内で行われる大会の合間を縫って開催されるため次の試合は11月下旬となります。そして、12月7日、8日には今年も貝塚市立総合体育館で試合が行われます。みんなで、レッドエルフの応援に行きましょう。

今シーズンの成績

8月30日(金)	日本生命レッドエルフ	2-3	木下アビエル神奈川
31日(土)	日本生命レッドエルフ	3-2	日本ペイントマレッツ
9月1日(日)	日本生命レッドエルフ	2-3	トップおとめピンポンズ名古屋
7日(土)	日本生命レッドエルフ	3-2	木下アビエル神奈川
8日(日)	日本生命レッドエルフ	1-3	日本ペイントマレッツ
9日(月)	日本生命レッドエルフ	4-0	トップおとめピンポンズ名古屋



早田ひな選手



陳 思羽選手(右)
前田美優選手(左)



8月31日(土)日本ペイントマレッツ戦

貝塚市立総合体育館での対戦が決まりました!

12月7日(土) 18時 対 日本ペイントマレッツ

12月8日(日) 13時 対 木下アビエル神奈川

チケットは、Tリーグ公式サイトやローソン店舗・ローソンチケットサイト等で販売中。

日本生命レッドエルフ選手紹介

- 17 石垣 優香 0 森 さくら 1 平野 美宇 2 皆川 優香
- 7 前田 美優 10 于夢雨(ユ モンユ シンガポール)
- 11 陳思羽(チェン ブーユ 台湾) 18 早田ひな 19 田志希(チョン ジヒ 韓国)

○数字は背番号